

■チリ：再エネ発電、2014年末までに150～180万kW

チリの再エネセンター（CER、エネルギー省所管）は2014年3月19日、再エネ発電について、2013年の導入実績と2014年の見通しを発表した。それによると、2014年末時点の発電設備容量は150～180kWになるとされている。2014年年初の時点で稼働している発電設備容量は135万kW（バイオマス44万kW、風力42万kW、小水力34万kW、太陽光15万kW）である。建設中のものは、計93万kW（風力59万kW、太陽光23万kWなど）である。なお、2014年1～2月の再エネによる発電電力量は7億9,300万kWhで、主要系統区域における総発電電力量の約7.1%を占めた。再エネ電源のエネルギー別比率は、バイオマス50%、小水力29%、風力18%、太陽光3%。